



# 保多留

建設的な生き方へのお手伝い ( Just do it ! )  
 (カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)  
 【今月の一冊】 思考の整理学  
 外山滋比古 著 筑摩書房  
 ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/prime21/>

発行日 2011年10月1日 **Vol.108**  
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション  
 代表取締役 渡邊敏徳  
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地  
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

## 人創り

最近、書店に行くと目につく本が増えてきたように感じています。私が気づかなかっただけかもしれませんが、孔子や孟子といった儒教に関する本です。儒教の教書には「大学」「中庸」「論語」「孟子」という『四書』(ししよ)があります。

小学生に「論語」を教えている関西の論語塾で驚いたことがあったそうです。

東洋古典では「孝」がベースになっていますが、子どもたちにその話をしようと思い、「こう」と読む字を書き出してみようと言いました。

いろいろと書いていくのですが、一向に「孝」という字は出てきません。驚くことに小学生の教科書を調べてみると、6年生になって初めて「孝」という字を習うことがわかりました。1年生から5年生までの間に「こう」と読む漢字は25個あるのですが「孝」という字は入っていません。

「孝」という文字の成り立ちを、1年生でもわかるように説明していくそうです。「孝」は「老」と「子」が合体してできた字で、最初は、お父さん、お母さんが子どものおしめを替え、お乳をあげて育てる。そして、両親が年を取ったら、今度は子どもが親を背負う。その姿を表したのが「孝」という文字の意味だと。

また、子どもたちには『孝経』の一文を暗誦してもらおうそうですが・・・。

「父母からもらった身体を傷つけないことが孝行の第一歩である。一身の独立を保持し、人としての道を行い、名を後の世まで残し、父母の名を世に顕す。これが親孝行の究極の姿である」という内容です。

小さな子どもたちが親御さんの前で堂々と発表する姿に大変感動するそうです。子どもたちは、「社会の役に立ちたい」「親孝行したい」と決意を述べます。

最近では、「いろはにほへと」が言えない大卒の新入社員も多いようですが、人として根本的な部分を勉強していくことをもっと大切にしていかなければいけないように感じます。どんなに科学が発達しても、大事なものは「人創り」なのだと思います。自分自身の生き方や子どもたちへの関わりを考えてみたいと思います。



## 当たりくじ?

大変に有名な企業の社長の実話です。セブン&アイ・フードシステム社長埴明彦(はなわあきひこ)氏である。彼は、小学校の時、借金取りから逃げるように父親が家出。中学・高校と寝たきりの母親と2人だけの生活が続いた。

その暮らしの中で、1つの言葉を胸に刻みつけた。その言葉は「人生すべて当たりくじ」。この言葉は、人生を生き抜いていく覚悟となった。

営業本部長時代に、25,000人の人事異動にかかわったそうですが、人事異動があると、ほとんどの人が外れくじだと思う。外れくじと思いつけていると、1年後には本当に外れくじになってしまう。そんな中で彼は、すべてが当たりくじだと思って頑張ったそうです。

平成8年、彼は中国室長の辞令を受けた。周りは誰も外れくじだと言ったが、当たりくじだと信じ続けた。自分で集めた部下9人と中国に赴任。

13年の在任で、中国イトーヨーカ堂は11店舗、売上高1千億円弱の事業となった。当たりくじと信じることで、自分の場を当たりくじにしていける。そんな生き方が、人物を創り成長させていく本質なのではないかと感じます。あらゆる世界の成功は「人物」に尽きる。担当する「人物」いかんで盛衰が決まる。私も人物としての当たりくじになりたいものです。

### 【座右の銘にしたい名言】



文句ばかりいう相手や、世間のあら探しが好きな相手と一緒にいるよりも、幸福そうな顔をした人や、成長し人生を楽しむことに関心を抱いている人に囲まれているようにしなさい。

ウェイン・ダイアー(心理学博士)